

施策評価表

平成28年度分

① 施策コード	5・1・3					
② 施策名	環境保全・美化活動の推進	評価担当課	町民税務課	総合戦略	行政経営	過疎
③ 目標	豊かで住みよい環境に満足している町民の割合			施策の内容	地域の特性や環境資源を生かしながら、町民が主体的に環境保全や美化活動に取り組むことができる支援を行います。また、「環境基本計画」に掲げる町を目指すとともに、環境教育・環境学習の充実を図り、環境の保全と創造に主体的に取り組む人材を育てます。	
④ 現状と課題	<p>◆ 本町は273.30km²と広大な面積を持ち、その約7割を山林が占め、阿武隈川やその流域は、多くの優れた自然資源の宝庫となっています。この豊かな自然環境は、人々の生活に潤いを与えるだけでなく、自然とのふれあい、学習、レクリエーションの場としても様々な役割を担っており、保全に努めていく必要があります。</p> <p>◆ 潤いのある生活を営んでいくためには、公園・緑地などの身近な緑の適正な維持管理や、良好な景観の保全と創出が求められています。</p> <p>◆ ごみの減量化・再資源化や環境美化などについては、これまで様々な取り組みが行われてきましたが、引き続き町民・事業者・行政がそれぞれの役割を明確にしなが、より一層環境に配慮した取組みを推進していくことが望まれます。</p>					

⑥ 目標指標

指標名	単位	基準値	目標値(上段)・実績値(下段)					
			27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	
一斉清掃活動参加者数	人	2,489		2,700	2,700	2,700	2,700	
			2,342	2,530				

構成事務事業の事業費合計(単位:千円)

構成事務事業の事業費の合計	27年度	28年度	29年度(計画)	30年度(計画)	31年度(計画)
	3,464	3,423	4,165	6,985	4,165

1年間の取組の総括

⑧ 1年間の主な取組と成果	<ul style="list-style-type: none"> ・町の将来環境像の実現に向けて、環境保全活動が促進されるよう各課に対し目標達成状況や進捗状況の把握を依頼し、環境への意識の深まりと説明責任の意識の醸成に寄与した。 ・日常的に環境を意識した生活を送ってもらうため、子供から大人まで環境活動への意識を高める機会を増やし、環境保全・美化に貢献した。 ・防疫・消毒事業に留まらず、環境活動にも取り組むようになってきている公衆衛生組合活動を支援し、地域の衛生及び環境維持に貢献した。 ・阿武隈川の水质検査を行い、水质も維持され住民の安全な生活に貢献するとともに、阿武隈川サミットや阿武隈川水系水質汚濁対策協議会に参加し連携を図った。 ・環境保全と美化に資するため、看板の設置や監視カメラの設置を行い、不法投棄の抑制を図った。 ・衛生的で安心して生活するため、防疫・消毒事業用の薬剤を購入し配布を行った。
⑨ 施策の進行管理 (構成事務事業の評価結果をもとにした施策の進捗状況の判定)	<p>◎</p> <p>【◎】おおむね順調 【○】いっそうの推進が必要 【△】抜本的に見直しや改善が必要</p>

今後の取組

⑩ 今後の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・環境基本計画の目標の達成状況や施策の進捗状況の公表をする。 ・雨天時でも危険なくできる水生生物調査の方法やごみの分別講習会の早期開催を検討する。 ・公衆衛生組合事業については、防疫及び薬剤散布事業のみならず、環境活動にもさらに力を注いで頂けるように指導していく。 ・研修会等に参加し、水質事故発生時の連絡手段や対策を確認する。 ・不法投棄防止のため、監視カメラの有効な活用方法を検討していく。 ・防疫・消毒事業用薬剤について、住民へアンケート調査を実施して意見を集め、使用する消毒薬剤の種類、銘柄を検討する。
---------	--

⑪ 次年度以降の方針 (主担当課)	現状維持	【説明欄】
委員会評価	現状維持	【委員会意見欄】